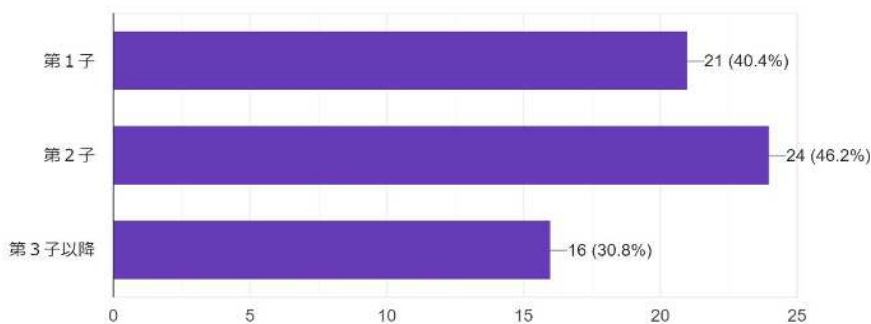


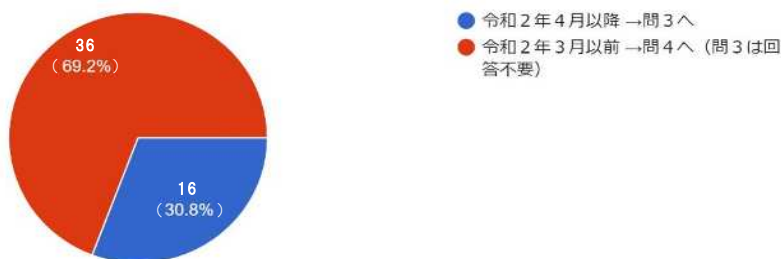
出産祝金アンケート調査結果

- 調査期間 令和5年8月7日(月)から8月20日(日)まで (14日間)
- 調査方法 Googleフォームを活用したWebアンケート
- 調査対象 令和3年4月から令和5年3月までに祝金を受給した人 (転出者を除く) 96名
- 回答数 52件 (回答率54%)

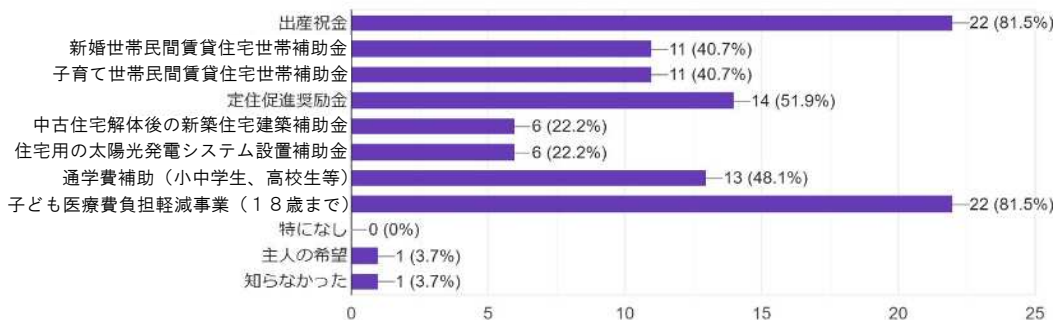
問1 祝金対象の子どもは第何子ですか？ (令和3年3月から令和5年2月までに申請したもの、複数選択可)



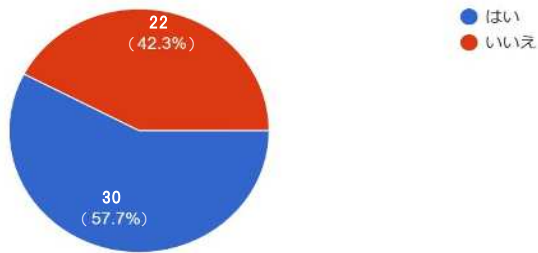
問2 芦屋町には、いつから住んでいますか？



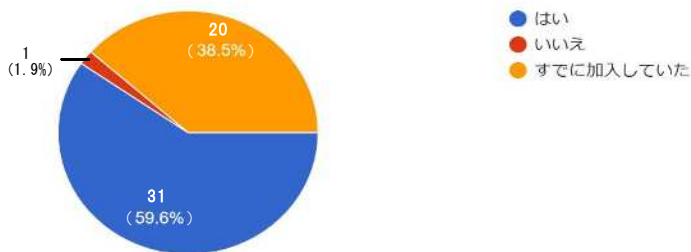
問3 芦屋町に転入するときに、芦屋町が実施している補助金等のうち、魅力的と思ったものはありますか？ (複数選択可)



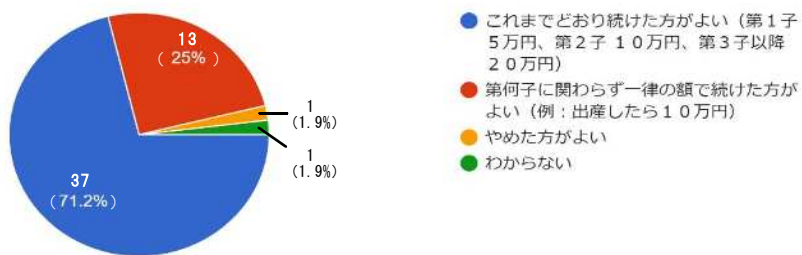
問4 祝金の制度は子どもを産み育てるきっかけのひとつになりましたか？



問5 祝金の申請が自治体加入のきっかけのひとつになりましたか？



問6 祝金の制度の継続・廃止について、どう思いますか？



問7 その他ご意見等がありましたら、ご記入ください。

- 芦屋町に若い人を呼び込むためにも絶対に続けるべきだと思う。
- ものすごくありがたいと思ったので続けて欲しい。
- 制度はとてありがたいので続けて欲しい。
- これからも住み続けたい。子ども達にとってより良い町に進展し続けて欲しい。
- 芦屋町は子育て支援がすごく良いと思う。とても助かる。
- 祝金でとても助かった。
- 祝金で子どもに充てられるお金が増え、内祝ができたため、とても助かった。廃止するのは芦屋町の良いところが無くなるようで勿体ないと思う。
- 本当に助かっている。芦屋町には祝金だけではなく、素晴らしい制度がたくさんある。制度を続けることで過疎化の抑制にも繋がると思う。
- オムツやおしりふきなど消耗品の購入にすごく助かる。
- 出産時にかかる病院の費用や、出産準備にかかるオムツ代、衣類代などかなりのお金が必要だったので、祝金はとても助かった。
- 芦屋町は素晴らしい町だと思う。これからも子育てに手厚い町であることを願う。
- 補助金が手厚いため、現在、マイホームも町内で検討している。
- 子どもを育てやすい環境を町が作ってくれて大変助かっている。地元で家を建てようか迷っているが、引っ越してきた芦屋町が住みやすく、祝金制度があるので、今後産み育てていく事を考えたら芦屋町を離れたくない。
- 祝金の商品券はすごく助かるが、オムツ、ミルク、お尻拭きなどが揃っているコスモスで使えたら良いと思う。
- 出産の祝金であるのに、コスモスなどで使えず、子どものための買い物があまりできなかった。
- オムツや離乳食、ミルク等乳幼児に必要な物品を販売している店舗がコスモスしかないため、取扱店舗が増えると助かる。
- 出産祝金という名だが、商品券で赤ちゃん用品（粉ミルク、オムツ等）を買えるお店がほぼなく、少し悲しかった。一部でも良いので、大型店舗でも使用できるようになると産後支出が増える世帯は本当に助かると思う。
- 出産祝金大変助かったが、コスモスでも使えたら良かった。
- コスモスで使えなかったため、芦屋町で紙パンツの購入ができる店がなく、子どもに還元することができなかった。祝金が出産のきっかけの一つではあったが、継続するのであれば産まれてくる子どものために使えるようにしてもらいたい。  
また、祝金を廃止するのであれば、出産費を無料にすることで子どもを産みやすい環境になり、人口増加につながり町が活性化していくのではないかと思う。産むのにお金がかからないまちづくりをしてもらえると魅力的な町になると思う。
- 祝金は芦屋町で子育てをしたい理由の1つだったので、もし祝金を廃止するのであれば、駅が近くになく、小中学校が遠い芦屋町にあえて住もうとは思わなくなると思う。最近は、子どもが小さいうちは子育てがしやすい町と言われているのに、廃止を検討する理由が分からない。
- 近くに公園がない。各自治区に公園が整備されると良いと思う。